

交流文化学科		教授	永野 隆行	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識の向上の取り組み	1998年4月～現在	授業において、学生の授業への参加意欲、学習意欲を高めることを常に意識している。具体的には、実際に社会で起こっている問題や事件を積極的に取り上げ、そこから視野を広げて問題意識を高めるような工夫を行っている。さらに授業では、ワイヤレスマイクを使用し、できるだけ教室内を歩き回り、学生たちにマイクを向けて、問いかける形で授業を進めるようにしている。	
2	学生からの質問を引き出す工夫		授業中でも遠慮なく質問をするよう常に奨励するだけでなく、携帯電話のメールを使った質問形式を取り入れている。学生たちからのメールを、教壇にあるネットワーク接続のPCで受信し、時間を設けて、それらの質問に答えられるようにしている。授業評価アンケートでも、この質問形式に対する学生の評価は高く、実際に利用度も高い。	
3	学生による授業評価の活用		授業評価アンケートの結果を学生に対して積極的に公表し、改善措置を講じている。	
4	学生の授業の理解度の向上への工夫		授業は基本的にプレゼンテーションソフトを利用して進めるようにしている。同時に補助資料としてレジメも配布して、学生ができるだけ講義に集中できるような環境を整備している。また、積極的にAV資料も活用しており、学生の授業への関心・理解を深める工夫を行っている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1992年9月～現在		日本国際政治学会会員		
2004年9月15日		目黒区社会教育講座・オーストラリア理解講座を担当(一回)		
2005年9月～現在		オーストラリア学会会員		
その他				